

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 3年 3月 10日

事業所名 子ども福祉プラザ まむの樹

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	利用児に対しての広さは十分確保できています。
	2 職員の配置数は適切である	3	0	人員配置基準に沿って配置しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	0	一日のスケジュールをボードなどを用いて視覚的にわかりやすいよう提示しています。室内には療育に必要なもの以外は置かないよう配慮しています。言葉での伝達が難しい場合はカードを用いて伝えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	衛生面は拭き掃除にて除菌を行っています。また温度、湿度、音、採光に気を付けています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	時々話し合いが出来ない時がありました。職員全員が話し合いの時間を確実に持つよう調整していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	評価表を配布していますが、保護者等の意向・意見の記入は少ないため評価表を依頼する時に記入しやすい様な工夫が必要と考えています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	評価表の結果については、ホームページ上で公開しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3	第三者の評価は受けておらず、結果はありません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	社外研修・社内研修を実施しています(社外研修については新型コロナの影響で開催中止となるものもありました)。職員が自主的に研修を受講することもあります。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	面談や送迎時のやり取りの中で、子どもと保護者のニーズや課題を把握し、作成するよう努めています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	アセスメントツールを使用し子どもの状況の把握に努めています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0	各支援内容に沿って支援項目を設定し、できるだけ具体的になるよう努めています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	個別支援計画に沿った日誌をつくり、毎回確認しています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	偏った支援内容にならないようにチームでプログラムの立案を行っています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	3	0	個別対応や集団での支援など個々の状態にあわせて支援できるよう努めています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	支援前日、当日と職員間で打ち合わせをしています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	子どもとの振り返りは必ず行い、気づいた点は報告・改善するよう努めています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	連絡帳や保護者お迎えの際に日々の状況を報告するとともに、日誌に記録しています。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0	保護者との振り返りを行い反映させるよう努めています。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	管理者・サービス管理責任者・現場担当など子どもの状況を把握しているものが出席しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	0	併用利用児については、保育園・幼稚園と連携を取っています。病院、保健センター、行政などの関係機関にパンフレット等を置いてもらうなど今後の支援に繋げることができるよう連携を取っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0	現在対象児はいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	サービス担当者や送迎時に担当の先生と話す機会を設けています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	相談支援担当と連携をとり学校や行政の動向と支援の方向性について情報を共有できるよう努めています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	3	専門機関との直接的な連携は現在できておりませんが、子どもの心理評価検査結果表(写)などを頂き参考にしています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	新型コロナウイルス感染防止の為、交流活動等は現在行っていません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	1	法人の理事長が新富町自立支援協議会と新富町子ども・子育て協議会の委員です。宮崎手をつなぐ育成会の理事、スペシャルオリンピックスの事務局に在籍し、利用する方や地域の立場に立つとすることを常に意識し活動しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	送迎時や連絡帳を利用し伝えていきます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	1	家庭環境の変化に応じて対応できるよう努めています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	専門用語をなるべく使わず、わかりやすい言葉で説明できるよう努めています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0	個別支援計画を提示し、署名・捺印をもらい同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	送迎時や連絡帳、電話などを用いて行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3	親子交流会などの企画を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止の為、開催出来ていません。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	相談内容によっては当日返答できない場合もありますが、速やかに対応できるよう心掛けています。当事業所だけで解決が難しい場合は相談支援や他事業所・行政等と連携を取りながら対応するよう努めています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	定期的にお便りを発行しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3	0	お便りや寄贈のお礼状など写真・名前を掲載することもありますので「写真掲載に関する同意書」で確認し掲載しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	子ども達との意思疎通はカードを用いたり、言葉のトーンや速さを変えるなど配慮しています。保護者にはわかりやすい言葉を使う様配慮し、連絡帳を用いて情報共有するよう努めています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	勤労感謝の日にはお世話になっている方々へプレゼントを渡しました。新型コロナウイルス感染防止の為、その他行事は開催出来ていません。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0	各マニュアルは書面にて配布しています。実施する訓練はスケジュールでお知らせし、様子をお便りなどに掲載しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	定期的に火災・地震等を想定した訓練は行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	0	フェイスシートを用い情報を共有しています。服薬等の変更があった際は、その都度保護者より情報を頂き職員間で共有するよう努めています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	現在医師の指示書が必要な児童はいません。アレルギー状況についてはフェイスシートで確認しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	事例集は添付しています。「危ない」と感じた事や気づきは書面化し、職員間で情報共有を行う予防につなげるよう心掛けています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	毎年、宮崎県が開催している研修への参加や法人内研修を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	0	保護者には身体拘束を行う際の状況(想定も含む)を十分説明し、個別支援計画への記載と同意を貰っています。